

外国人等に対する熱中症等関連情報の提供のあり方に係る ワーキンググループ（第2回）

議事概要

1. 日時：平成28年6月9日（木）9：30～10：00
2. 場所：中央合同庁舎8号館8階特別中会議室
3. 議事：
 - （1）「外国人等に対する熱中症等関連情報の提供のあり方に関するワーキンググループの開催について」の一部改正について
 - （2）平成28年度における外国人等に向けた熱中症等関連情報の情報発信の計画について
 - （3）その他

3. 出席者：

<構成員>

- 上村 昇 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会
推進本部事務局参事官（座長）
- 山口 最丈 消防庁救急企画室長 ※代理出席
- 品田 光彦 外務省大臣官房人物交流室長
- 有賀 玲子 厚生労働省健康局健康課女性の健康推進室長 ※代理出席
- 鈴木 一寛 観光庁参事官付コンベンション振興指導官 ※代理出席
- 藤 貴志 気象庁総務部企画課調査官 ※代理出席
- 立川 裕隆 環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課長

<オブザーバー>

- 岩澤 貴士 埼玉県県民生活部オリンピック・パラリンピック課主事 ※代理出席
- 伏居 丈夫 千葉県総合企画部東京オリンピック・パラリンピック推進課副課長 ※代理出席
- 川久保ルミ子 東京都環境局地球環境エネルギー部環境都市づくり課長 ※代理出席
- 戸谷 泰之 東京都オリンピック・パラリンピック準備局事業推進担当部長
- 萩原竜太郎 神奈川県スポーツ局オリンピック・パラリンピック課副課長 ※代理出席
- 川上 恵子 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
国際渉外・スポーツ局スポーツ準備運営部調整課長 ※代理出席
- 福嶋 義博 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
大会準備運営第一局大会計画部調整課長 ※代理出席

4. 議事要旨

- （1）議事1について、座長より資料1に基づき、報告。
- （2）議事2について、事務局より資料2に基づき説明。修正意見なく了承。

【内閣官房オリパラ事務局参事官（座長）】

現在作成中の資料2に記載のあるリーフレットのクレジットについては環境省の他、内容の検討に協力いただいた厚生労働省、消防庁も併せて記載してはどうか。

【環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課長】

資料2のⅢ. 発信の手段について、環境省は海外向け情報発信をやってはいるが、しっかりとやっていなかったというのが環境行政全般の状況であり、実績は不十分。また、情報発信については各機関がバラバラにやっても情報が氾濫して上手く受け手に伝わらないことを危惧している。そのため事務局には組織を上手く束ねることをお願いしたい。環境省としてもできる限りの協力をしたい。リーフレットの内容についてももう少し中身を

検討したい。

【内閣官房オリパラ事務局参事官（座長）】

この計画をまとめること自体が最終到達点ではないので、引き続き内閣官房オリパラ事務局からも働きかけていきたい。実際に各関係者のみなさんに実施していただくが、実施内容についてはフォローアップし、来年度以降更にいいものになるようにしていただきたい。

また、英語による情報発信については、熱中症を軽症から重症までを含めた表現とし、外国人向けの注意喚起や警告というニュアンスのものであるため、「heat illness」という言葉を使っていくこととしたい。

（３）その他

【内閣官房オリパラ事務局参事官（座長）】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策については、平成27年9月に当面の対策として「中間とりまとめ」を策定した。熱中症等関連情報の提供や競技会場等の暑さ対策を今後進めるためにも、基本的なデータの収集が必要と考えている。環境省は全国841地点で予測値や実測値を公表しているが、競技会場という視点ではないため、今年の夏から競技会場やその周辺、会場までの経路を中心に、施設管理者の協力を得て、内閣官房オリパラ事務局が測定したいと考えている。得られたデータは暑さ対策の今後の検討に活用することとする。今年度は、

測定場所：競技会場が集中していて、最寄り駅からの移動時間が比較的長くなることが想定されている有明地区、屋外で競技が行われ、観客等の多くが長時間日陰部分の少ない屋外にいることが想定される会場やその周辺

測定するデータ：原則 WBGT¹

測定期間：2020年大会の開催期間である7月25日から9月6日までのまとまった1週間程度

詳細については専門家にも意見を聞きながら検討する。

【環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課長】

今ご提案いただいた事項、我々としてもしっかり考えていきたい。個別具体的話は担当ラインで相談させていただきたい。

【東京都オリンピック・パラリンピック準備局事業推進担当部長】

測定について、関係者が協力していくという前提のなかで、暑さ指数を調べてどう活用をしていくのかについて議論した上で、調査場所をどう決めていくか等を事務的に議論すべき。

【厚生労働省健康局健康課女性の健康推進室長】

厚生労働科学研究費のなかで、今年から3年間、救急搬送されている患者のうちの外国人や障害のある方の状況等の調査を実施予定。調査結果等が出たらこの場にも情報提供したい。また、何か調査した方がいい項目があれば教えてほしい。

・閉会

¹ Wet-Bulb Globe Temperature：湿球黒球温度